

業種	福祉
業種に含まれる事業	介護施設、福祉作業所
主用途	利用者送迎、施設外レクリエーション時の送迎
平均走行距離 (稼働日のみ)	24.4~31.2km/日
平均走行距離 (モニター期間全体)	21.2~21.4km/日
最長走行距離	42.2~64.2km/日
走行時間帯	平日7時~17時
利用傾向	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均走行距離（稼働日のみ）は、EVの航続距離に比べて余裕があり、業務利用上支障がない。</li> <li>施設利用者の送迎が中心で、特定の拠点間の移動となるため、走行距離が一定となる利用が中心である。</li> <li>施設外レクリエーション時の送迎に用いる場合においても、日常の走行距離より長くなるが、特定の拠点間の往復で走行距離が一定であるため、満充電されていれば走行に不安はない。</li> </ul>
年間燃料節減費	95,100円~131,600円
ガソリン車との トータルコスト比較	<p>【条件】乗用車バンタイプ 平均走行距離（モニター期間全体）：20km（年間走行距離 7,300km）</p> <p>トータルコスト(万円)</p> <p>購入時 1年 2年 3年 4年 5年 6年 7年 8年 9年 10年 11年 12年 13年 14年 15年</p> <p>— GS車費用 — EV(燃料費のみ) - - EV(+補助金) - · - EV(+補助金+減税)</p> <p>【コストメリットを享受するための使用期間】 補助金及び減税を活用した場合でも15年目にならないとトータルコストが逆転することはない。</p>
適応EV車種	<p>乗用車バンタイプ、ワゴンタイプ（例：eNV200バンタイプ、ワゴンタイプ）</p> <p>主用途が施設利用者の送迎であることから、車内が広い乗用車バンタイプ、ワゴンタイプが適している。</p>
課題	<p>適応EV車種とされる乗用車バンタイプ、ワゴンタイプは、ガソリン車との価格差が大きいため、15年目にならないとトータルコストが逆転せず、EVの経済性の効果が発揮されにくい。</p> <p>ただし、福祉施設においては、車両の導入について、他の公益法人などから助成を受けられる場合がある。EVの導入にあたり、そのような制度を活用できれば、ガソリン車との価格差が縮まるため、EVの経済性の効果を発揮できる可能性がある。</p>